

新たな挑戦を仲間と！【生徒会立会演説会にあたって】

生徒会選挙についてのお話をする前に、先ほどたくさんの方の表彰を伝えました。まずは、それぞれが部活動や個人として掲げた目標に向かって努力し、活躍していること、本当に素晴らしいと思います。

また、多くの生徒が委員会活動や行事で活躍をしてくれています。例えばNVC委員会による落ち葉拾いやその活動に賛同し自主的に活動に参加する生徒、生徒会による服のプロジェクト活動、人権委員会による人権コンサート時の進行、また南中生の鑑賞する態度、観る側としてのいい反応やステージに出て歌う勇氣、給食委員会の毎日の片付けや文化報道委員会によるお昼の放送等です。それらの活動により、充実した学校生活ができることに、改めて感謝します。

さて、表彰の中で、個人代表として英語の弁論大会表彰を伝えました。大会当日、私も会場に行きました。彼女の堂々とした発表の姿は、内容とともにとても素晴らしいものでした。とても感動しましたので内容の一部を紹介します。

スピーチは、バスケットボール部に所属していた彼女が、最後の試合の時に多くの応援の人たち、それからチームメイト支えてくれた保護者の方々や先生たちのおかげで、相手チームはとても強いチームだったけど、自分の中で最高のゲームができたという切り出しで始まりました。

思い返せば、新型コロナの感染対策によって試合や応援が十分に行えなかった期間があり、今年になってやっと有観客での試合ができるようになった。その体験を通して2つの学びがあったそうです。

1 つはその周囲からのサポート、支えがあったからいつの日か自由に試合ができる時が来ると信じてチームメイトと励まし合い共に練習を続けられた。
2 つ目は、コロナ禍の制限により、これまで普通と思われたことが、明日も普通とは限らないという経験をした。その体験から困難な状況の時に互いに励まし合い支え合うことがどれほど大切であるかに気づくことができた。

そしてこれら2つの学びから、「私たちは決して1人きりではない」、「困難な状況も、仲間と支え合うことで乗り切って行ける」と思えた。共にがんばったチームメイトを誇りに思うし、周囲の支えに心から感謝している。という内容でした。

さて、本日この後、役員選挙の投票が行われます。勇氣を持って生徒会に立候補し、演説をした生徒のみなさんはとても立派だと思います。これから投票をする皆さんは、立候補者のその勇氣を認め、自分も南部中生徒会の一員であることを考えて真剣に投票をお願いします。

